



2026年 5月 13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 う る る
代 表 者 代表取締役社長CEO 星 知也
(コード番号:3979 東証グロース)
問 合 せ 先 執行役員 CFO 内丸 泰昭
(TEL.03-6221-3069)

連結業績予想と実績値との差異及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

2026年2月13日に公表した2026年3月期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、2026年3月31日を基準日とする配当予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値との差異について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想と実績値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,710	百万円 1,100 ～1,200	百万円 820 ～920	百万円 820 ～920	百万円 550 ～600	円銭 19.87 ～21.68
実績値 (B)	7,751	1,275	932	923	737	26.65
増減額 (B-A)	41	75 ～175	12 ～112	3 ～103	137 ～187	—
増減率 (%)	0.5	6.3 ～15.9	1.3 ～13.7	0.4 ～12.6	22.9 ～34.1	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	6,701	1,002	762	761	458	16.55

※当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行ったため、連結業績における1株当たり当期純利益は、株式分割考慮後の金額を記載しています。

(2) 差異の理由

売上高につきましては、主力のNJSS事業の成長により計画通り進捗し、上場来10期連続となる過去最高売上を更新いたしました。

利益面につきましては、全社的な収益構造の最適化による売上総利益の改善に加え、マーケティング投資の運用効率化とコスト管理が奏功いたしました。利益成長と規律ある投資の両立により、各段階利益が前回発表予想を上回りました。なお、親会社に帰属する当期純利益については、これらに加え税効果会計の影響も寄与しております。

2. 2026年3月期期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円銭 —	円銭 3.00	円銭 3.00
今回修正予想	—	4.00	4.00
当期実績	0.00	—	—
前期実績 (2025年3月期)	0.00	2.50	2.50

※当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行ったため、1株当たり配当金は株式分割考慮後の金額を記載しています。

(2) 理由

当社は、「ULURU Sustainable Growth」のもと、株主還元を重要な経営課題の一つとして位置付けており、TSR(株主総利回り)の向上に向けて、中長期的なEPS(Earning Per Share)成長を重視しつつ、配当政策については、配当性向15%以上を目安としたうえで、累進配当を継続して実施することを基本方針としております。

2026年3月期につきましては、前述の方針及び業績を総合的に勘案し、直近の配当予想から1円増配し1株当たり4円を予定しております。

以上